

令和7年度 学校だより

令和7年7月1日



にしはら

7月号

渋谷区立西原小学校

西原スマイル

副校長 中町 千恵子

早いもので、夏休みまで残り3週間となりました。新しい学年での学校生活にも慣れ、生き生きと活動する児童の姿が見られます。保護者・地域の皆様の温かいご支援に感謝いたします。

令和6年度から文部科学省の「授業時数特例制度」を活用し、探究「シブヤ未来科」として総合的な学習の時間のさらなる充実に向けて取り組んでいます。6月13日には、宮城県議会議員、豊田市教育委員会、上伊那教育会など十数名の教育関係者が、本校のシブヤ未来科の授業を視察されました。協議会では、意見交流の中で、本校の探究学習の取り組みに大変感心しておられました。

6月24日には、校内研究で6年の研究授業が行われました。単元名「未来へつなぐ～西原スマイルアッププロジェクト」として、西原の地域の魅力や課題について調べたり、考えたりします。地域の人々の願いや思いを尊重し、よりよい西原にしていくために自分に何ができるかを考える中で、地域に誇りをもち地域を大切にしていける心情を育成していきます。事前授業では、地域の魅力や課題について探究するべく、地域に出てインタビューをしました。暑い中、引率をしていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。研究授業では、インタビューを整理・分析し、より深く西原の魅力に迫るにはどうすればよいか考えました。これから探究していく中で、行き詰ってしまう場面もあると思いますが、「西原スマイル」で壁を乗り越えてほしいと願っています。

さて、先日、西原小 PTA 広報誌「西原スマイル」が完成しお届けいただきました。PTA 広報役員の皆様には、年度当初より企画・準備・撮影・編集等、広報誌作成のためにご尽力いただきありがとうございました。とても素敵な広報誌を手にした時、皆様の思いが伝わり感謝の気持ちでいっぱいになりました。教職員アンケートの中で、「水泳が得意です。」と回答しましたが、実は私は小学6年生の夏休みまでまったく泳げませんでした。顔に水がかかるだけでも苦手でした。夏になると、いかに水泳の授業を回避するか頭を悩ます小学校生活でした。そんな私に転機が訪れました。毎年開催される地域の水泳大会に6年生が出場するのですが、1名足らず、私が出ることになってしまったのです。そこから毎日、恐怖の水泳特訓が始まりました。最初は全然泳げず苦労しましたが、毎日練習する中で少しずつ泳げるようになり、泳ぐことが楽しいと思えるようになりました。無事水泳大会に出場した私は気をよくして、中学校では水泳部に入り4種目を泳ぐことができるようになりました。西原小の子供たちも、苦手なことやうまくいかないことがあっても、諦めずに、この夏休みにぜひチャレンジしてほしいと願っています。



7月の目標

【生活目標】

身の回りの整理・整とんをしよう

【保健目標】

夏を健康に過ごそう

【給食・食生活】

残さず食べて

暑さに負けない体をつくろう

国際交流会 7月5日(土)

西原小では毎年、国際交流会を7月に実施しています。外国の方と交流する機会を通して、児童の国際交流への意識を高めることをねらいとしています。今年度は JICA に加え、渋谷区内の EF International Language School と連携し、多くのゲストと学べるよう調整しています。

当日は、2時間目と3時間目の授業を公開いたします。各学級での国際交流の様子をぜひご覧ください。

